平成25年7月1日発行

FUREAINO MACHIZUKURI

滴翠会会報

2013 月刊　7月号　第271号

社会福祉法人 滴翠会

お知らせ

社会福祉法人滴翠会のホームページを下記のとおり開設いたしました。

平成25年6月10日開設

ホームページアドレス　http://tekisuikai.or.jp/

ホームページの開設にあたって

社会福祉法人滴翠会では法人設立37周年を期にホームページの開設を計画し昨年から実施に向けて作業を進めておりましたが、この程準備も整い開設にいたりました。

もとより不備の点、未熟の点等多々あると思いますが、皆様の御叱正をいただきながら改良を重ねて参ります。何とぞ御視聴いただきますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 滴翠会　理事長　高木康夫

●養護老人ホーム

滴翠苑（てきすいえん）だより

かすみがうら市横堀四五一―五
TEL〇二九九―五九―三六三一

レクリエーション大会

第七回レクリエーション大会

この行事は利用者の方の健康増進を目的としたものです。日々行われている体操やリハビリテーションとは違った方向から楽しみつつ、競技としてお互いを意識することで、普段では発揮していないであろう個々人の実力を十分に出してもらうことを目指して、プログラムが組まれました。

例えば「ころころボール」という競技は、幅六〇×長さ一八〇センチの坂に、パチンコ台の様な釘や風車で障害物をつくり、傾斜をつけてセットします。大小重さの違う十五個のボールを上部よりころがし、利用者が下部でボウルにて受けとり、入ったボールの数で競い合います。普段はゆっくりと動かれる方が、真剣にボールを目で追い、素早くボールを受けとっている姿を見て、深く感動しました。今後も年々変化する体力や能力に応じたプログラムを検討していきたいと思います。

滴翠苑での実習を終えて

茨城大学教育学部
二年　南島　康敬

実習初日は、介護施設という場所に不安があり、緊張してしまい、利用者の方々と積極的に話したり、上手く接したりすることができませんでした。しかし日が経つごとに利用者の方々と打ち解け合うことができました。利用者の方々とお話をすると、私の知らなかったことをたくさん教えて頂きました。

スタッフの方々を見ていたら、利用者一人一人に合った介助をしていました。また、必要最低限の介助をし、できるだけ自分達でやってもらうという方法をとっていました。これは教師になった時に生かすことができると思いました。

養護老人ホームは、老後を安心して安全に過ごせる場所です。

消　火　訓　練

総合防災訓練

六月七日、消防署と防災業者の立ち会いのもと、通報訓練・避難訓練・消火器や消火バケツを使った消火訓練が行われました。二人勤務の夜間を想定して行われました。通報訓練では、消防署や利用者に現場の状況を確実に伝える事が大切です。避難訓練では、早く、安全に利用者を避難誘導する事が重要です。消火訓練では、消防署の職員の方から消火器の取り扱い方の説明を受け、苑職員が実演しました。慌ててしまうとスムーズに行えず消火器の効力も半減してしまう場合もあります。

消防職員の話の中で、煙に巻かれ、煙を吸いこんで酸欠状態になり死亡するケースが多いとの事でした。避難する際の重要なポイントです。

職員一同、いざという時、慌てずに行える様、真剣に取りくんで行きたいと思います。

五日間というとても短い期間でしたが、普段体験することができない、貴重な経験をすることができました。今回の実習で学んだたくさんのことを、今後の生活や将来に生かしていこうと思います。

最後になりましたが、この度はお忙しいなか、介護等体験ということで実習をさせて頂き、本当にありがとうございました。

✤七月の行事

七夕まつり	七月　四日
出張ショッピング	七月　十一日
歩け歩け大会	七月二十六日
お誕生会	七月　三十日

●救護施設

慈翠舘だより

石岡市半の木一一一四六一
TEL〇二九九―二四―二八七一

墓　　参

半ノ木霊園お墓参り

慈翠舘から歩いて十五分位の所に半ノ木霊園があります。霊園には滴翠会墓地があり、そこには滴翠会各施設の物故者の方々が永眠されています。

慈翠舘では、今年創立三十五周年を迎え、利用者と職員全員で団体墓参を計画しました。

そもそも滴翠会は、創設者の高木理事長が慈愛と慈悲の思いを込めて福祉事業の創設にあたり、お身内のいない方のために墓地を設けたと言われています。慈翠舘の一人ひとりが折にふれ滴翠会・慈翠舘の創設の原点に思いを寄せることで先人たちからの歴史を感じ取ってもらいたい、そんな思いから今回の団体墓参が実現しました。

当日は一人ひとりが住時を偲び、墓前で手を合わせ、心安らかな気持ちで墓参から帰ってきました。

関東地区救護施設研究協議会

六月二十七日から二十八日まで群馬県高崎市に於いて第四十七回関東地区救護施設研究協議会が開催されました。関東一都七県から三十七施設、一六一名が参加しました。今年のテーマは「これからの救護施設の役割」です。

まず中央情勢報告がありました。ここでは制度改革の動き、生活保護をめぐる動向・今年度の推進事業が報告されました。推進事業では特に生活困窮者支援と個別支援計画の取り組みを強化していくという説明がありました。

分科会では、生活困窮者支援と個別支援計画について事例報告やグループディスカッションを交え、さらに深く学ぶことができました。

慈翠舘でも個別支援として地域移行支援に力を入れ、専門委員と立ち上げました。今回学んだことを活かして、利用者支援に役立てていきたいと思います。

カ　ラ　オ　ケ

歌クラブ外出

歌クラブでは、毎年「カラオケ外出」があります。

皆さん好きな曲を思いっきり歌う事で、気持ちのリフレッシュを図る事を目的としています。

事前に歌本を見て曲を決めていく方などもいましたが、当日カラオケが始まると、たくさんある曲の中から自分の歌いたい曲を決めるのに迷ってしまっている方もいました。

又、他の方が歌っている間はタンバリンやマラカスを手に取り曲に合わせながら音を鳴らしたりと、とても盛り上がりました。

帰りの車中では、「皆は何曲歌ったの？　私は四曲歌えたよ、もっと歌いたかった」と皆さん余韻に浸りながらの帰舘となりました。

職員研修・会議

カウンセリング研修　六月二十六日

関東地区救護施設研究協議会　六月二十七日　二十八日

七月の行事

誕生会　七月　二日

七夕まつり　七月　六日

夏まつり　七月　六日

日帰り旅行（御前山）　七月　十日

●特別養護老人ホーム

明翠苑だより

石岡市半の木一一四八一一一
TEL〇二九九一二三一九六二〇

防災訓練の総評

合同総合防災訓練

石岡市消防本部八郷消防署山崎出張所立ち会いのもと、隣接する救護施設慈翠舘と合同の総合防災訓練が六月十七日に行なわれました。

「午後一時四十分、調理室より火災発生」という設定で訓練は始まりました。初期消火、非常ベル作動、ホットライン（緊急連絡網）操作、避難放送、避難誘導といった順で訓練は進んでいきました。避難開始から人員確認まで九分で終了しました。

その後は、消火器を使って実際に火を消す訓練や屋内消火栓を使った放水訓練を実施しました。

最後に、消防署の方から訓練の総評をいただきました。また、担当者が集まった反省会でも「『火事だ』の大声は出ているが、出火元がどこかも叫んだほうがよい」等々のアドバイスをいただき、今後の防災に活かしていきたいと思います。

暑さ対策

梅雨も明け夏本番となりました。連日気温三十度を超す熱い日が続きます。

今年も明翠苑では、暑さと節電対策として、「緑のカーテン」を作ったり、よしずやすだれを設置したりして、なるべく利用者の皆さんに快適に過ごしていただこうと考えております。東日本大震災以前は、こういった方法をほとんど考えたことはありませんでしたが、窓への強烈な直射日光を遮ったり、ベランダからの照り返しがなくなったりと、昔の日本人の知恵はとても効果があります。

もちろん冷房も使用していますが、あまり冷し過ぎても、暑くても体調を崩してしまいますし、人によっても感じ方が違いますので、細かな温度管理や衣類の調節が必要となってきます。

水分も積極的にとっていただき、酷暑といわれる今年の夏を健康的に乗りきっていきたいと考えています。

ふぁみりー通信

6月の出来事

6月2日　理学療法士の先生がみえ、14名の方がリハビリ訓練を行ないました。

6月3日　「座談会」が行なわれ、利用者の皆さんへ6月の予定を説明したり、皆さんからのご意見を伺いました。また、誕生会も行なわれました。

6月5日　「売店」が午後開かれ、お菓子など好きなものを購入していただきました。

6月11日　近くにある「ダチョウ王国」へ出かけました。様々な動物がいて、楽しいひとときでした。

6月13日　「滴翠苑レクリェーション大会」があり、2名の方が参加しました。様々なゲームに挑戦し楽しむことが出来ました。

6月17日　「合同総合防災訓練」消防署立ち会いのもと、隣の救護施設慈翠舘との合同訓練が行なわれました。

明翠苑ニュース

（6月分）

面　会	99件	延110名来苑
ショートステイ	7名	延 29日利用
ボランティア		
売　店	1名	2日来苑
研　修		
社会福祉施設等新任職員研修		6月10日
施設管理者研修		6月12日
カウンセリング研修		6月18. 19日
安全運転管理者講習		6月26日
接遇・マナー研修		6月28日

明翠苑の「日常あ・れ・こ・れ」

入所検討委員会

入所検討委員会は、毎月1回明翠苑で開かれており、石岡市高齢福祉課の方、施設長、ケアマネジャー、介護職員等によって入所順番が検討されています。

明翠苑に入所を希望される方は、「入所申込書」を提出して下さいと5月号で記載しました。その申込書をもとに、ご家族や担当ケアマネジャー等に様子を伺ったりして、入所検討委員会にかけられます。

入所の際の基準となる「入所評価基準」、つまり①要介護度、②介護者の状況、③在宅サービス利用率、④近住性、があり、各項目が点数化され、点数の高い順から名簿が作成され、それにもとづき入所順番の検討が加えられます。

申込みが早くても、例えば「要介護度」が軽かったりすると順番が下のほうになってしまいますし、逆に介護の必要性が高い方ほど上にくると大まかには言えます。申込順ではないので、後から申込んだ方が先に入るということもあり、待っている方にとっては、いつ順番がくるのか見通しが立たないといえるかもしれません。

●デイサービスセンター

華翠会館だより

石岡市半の木一一四八〇
TEL〇二九九―二三―八二〇〇

七　　夕

デイサービス日誌　六月十一日（火）

参加人数　10名（男１名　女９名）
送　　迎　往き 8:30　帰り 16:00
昼食のメニュー　御飯、すり身揚げ甘辛煮、里芋の煮物、きゅうりとシラスの酢の物、フルーツ（キウイ）
機能訓練　嚥下体操、リハビリ体操、温熱治療器
レクリェーション　工作

今月からあん摩・マッサージ指圧師の方が来てくれています。毎週火曜日、午後からの楽しみの１つです。マッサージを受けた後の利用者さんの顔や身体は違います。「とても気持ち良い」「体が軽くなった」「スラスラ歩ける」「手が上がる」等々、皆さんとても喜ばれています。今月は火曜日限定ですが、来月は何曜日になるか楽しみです。

デイサービス日誌　六月十七日（月）

参加人数　10名（男２名　女８名）
送　　迎　往き 8:30　帰り 16:00
昼食のメニュー　御飯、タラチリソース、切り昆布の煮付け、きゅうりの酢の物
機能訓練　嚥下体操、リハビリ体操、温熱治療器
レクリェーション　黒ひげ危機一髪

今日は消防署の方が来られて明翠苑との合同防災訓練がありました。皆さん真剣に避難され、明翠苑の方々はベットごと避難して来ていました。その後、消火器を使っての消火訓練がありました。

デイサービス日誌　六月十三日（木）

参加人数　７名（男１名　女６名）
送　　迎　往き 8:30　帰り 16:00
昼食のメニュー　梅御飯、すまし汁（あさり）、棒棒鶏、カレイのから揚げ
機能訓練　嚥下体操、リハビリ体操、温熱治療器
レクリェーション　滴翠苑のレクリエーション大会

今年も滴翠苑から招待を受け、レクリエーション大会に参加して来ました。慈翠舘・明翠苑の利用者、職員、ディの利用者と大勢で行って来ました。色々なゲームがありとても楽しかったです。昼食は手作りお弁当をおいしく頂きました。ディに戻り入浴をし、充実した１日でした。

デイサービス日誌　六月二十日（木）

参加人数　８名（男１名　女７名）
送　　迎　往き 8:30　帰り 16:00
昼食のメニュー　御飯、チキンカツ、大豆とひじきの煮物、山芋のサラダ、フルーツ（キウイ）
機能訓練　嚥下体操、リハビリ体操
レクリェーション　音楽・クッキング

今日のクッキングは「りんご蒸しパン」を作りました。すりおろしたりんごとホットケーキの粉を混ぜて蒸しただけでしたが、作ってくれた人たちは手を切らないように、又、手まですりおろさないようにと慎重に行っていました。おやつに皆で食べると「おいしい」「りんごの味がする」と好評で「家でも作れるといいんだけどな」などの声が聞かれていました。

明翠苑居宅介護支援センターだより

石岡市半の木一一四八一一一
TEL〇二九九―二三―九六三四

気になることがあったら

デイサービスから戻り、連絡帳を確認すると「食事は半分しか召し上がりませんでした」と書かれていたとします。家では、食べなければ介助していつも残さず食べています。その時家族は、デイサービスでは介助をしてくれないのかな?と不満を感じました。

また、ショートステイから帰った後しばらくしてから、入れ歯が見つかったと担当者が届けてくれました。持ち物の確認をした時に気付かなかったのかと家族は不審に思いました。

デイサービスで食事を半分しか食べなかった理由は、他人に介助してもらうことの遠慮があったようです。施設でも介助はしているのですが「お腹がいっぱい」と言われればそれ以上の介助はできなかったのでしょう。その経緯を家族に伝えなかったのは明らかにミスでした。また、入れ歯の忘れ物に関しては、昼寝したときに本人が外し、ベッドとマットのすきまに落ちたようで、上の入れ歯は入っていたので気付くのが遅れたようでした。

介護サービスを利用する時、利用者本人はもちろん家族は、サービス提供事業所に〝完璧〟を求めるでしょう。相手はプロなのですから当然のことです。けれど、施設を利用する場合、一人の利用者に対して大勢の職員が関わっています。どんなに職員間で連絡を密にしても、どんなに立派な人であっても全くミスがないとは言えません。

家族が一対一で介護すれば思った通りの介護が出来るかもしれません。けれど朝から晩まで休む間もなく介護するのは精神的な負担が大きいのではありませんか?ミスを肯定するわけではありませんが、自宅での介護を頑張っているからこそ、ほんの少しだけおおらかな気持ちをもってほしいのです。

それから何か気になる事があれば、お互いの信頼関係を構築する為にも事業所に問い合わせるなり、改善を求めることが重要だと思います。

ケアマネジャー　井川　由美子

私のMENU（メニュー）

《トマトとそら豆のスープ》

これからの暑い季節、旬の食材は栄養たっぷり、疲労回復、夏バテに効果的です。

●材　料（２人分）

トマト …… ½ ヶ
そら豆（さやから出す）… 100g
だし汁
- 昆布（5㎝位）…… １枚
- 水 …… 1½カップ

Ⓐ
- 塩 …… 1.4g
- 正油 …… 小さじ⅔
- コショウ …… 少々

１人分
エネルギー　4.6kcal
塩　　分　0.8ｇ

●作り方

①だし汁を作る
水を張った鍋に、５㎝ほどの昆布を１枚入れ20分おきます。
②そら豆は薄皮をむく。
③トマトを４等分に切り、さらにそれを、５㎜幅にスライスします。
④鍋にだし汁と②を入れ火にかけ、沸騰したら、③とⒶを入れ一煮立ちしたらできあがりです。
お好みでコショウをかけて下さい。

滴翠苑 管理栄養士　高田 恵美子

ご利用をお待ちしています

養護老人ホーム　滴翠苑
救護施設　慈翠舘
特別養護老人ホーム　明翠苑
特別養護老人ホームユニット型　明翠苑
デイサービスセンター　華翠会館
明翠苑居宅介護支援センター

職員募集中　詳しくはホームページ又は施設へご連絡下さい

医療法人高木医院

TEKISUIKAI

社会福祉法人　滴翠会　http://tekisuikai.or.jp/